

YRS
ユアーズ



横浜ラポール聴覚障害者情報提供施設だより

横浜ウェーブ

第184号



新年度を迎えて

施設長 竹内 恵子

【令和2年度にあたって】

職員や聴覚障害者の方々とライブラリーのテレビを囲み、新元号「令和」の発表に盛り上がった一年前の4月1日。その一年後に、社会全体がこんな重苦しい空気に覆われる状況になるとは想像もしていませんでした。年度末及び新年度の各種事業が軒並み延期・中止となり、調整を余儀なくされている中ではありますが、令和元年度の主な取組等についてご報告します。

◆通訳派遣・研修事業：派遣・紹介人数は計12,764人（平成30年度：13,190人）となりました。これまで増加を続けてきた通訳派遣ですが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が大きく、2月以降、横浜市関係の行事や会議、団体が主催する行事等についても中止が相次ぎ、2～3月で130件の派遣依頼が取り消しとなりました。この度の感染症拡大に関わり、通常の出張対応が困難となることも想像されることから、急遽、遠隔による手話通訳対応についての検討を開始しました。現状では、通訳者に対し、季節性インフルエンザ用に配布したマスクに加え、今回の感染症拡大に際して横浜市から提供のあったマスクを追加で配布し、通訳業務中の着用をお願いしています。



◆養成事業への協力：（一社）横浜市聴覚障害者協会（以下：横聴協）が実施する手話養成事業については、養成事業運営委員会への参加、通訳養成Ⅲの運営協力、講師研修の企画等、養成事業全般に協力した他、登録試験の実施にも協力しました（合格者6人）。一昨年度から継続している奉仕員養成講師の育成プロジェクトについては、4人の方が養成プログラムを修了し、講師陣に加わりました。横浜市中途失聴・難聴者協会（以下：浜難聴）が実施する要約筆記養成事業については、登録試験の実施等に協力しました。今回の試験では、8人（手書き3人、パソコン5人）の合格者がありました。

◆聴覚障害者相談事業：即時の対処が必要な案件への対応の他、高齢ろう者宅（独居・夫婦世帯）への定期出張（訪問）に積極的に取組みました。出張、面談等による対応延べ件数は1,180件（昨年度対比107%）となりました。



◆普及・啓発事業：聴覚障害者災害救援横浜市域本部の活動の中で、災害時の聴覚障害者に対する配慮についてまとめた「防災リーフレット」の作成に協力しました。講師派遣については、新たに相談事業等に関わりのある介護保険事業所等の現場の要望に対応した「事業所向け：聴覚障害者理解に関する出前講座」を企画し、好評を得ました。

◆ビデオライブラリー事業：今年も障害者放送統一機構へ提供する番組として、横聴協の協力のもと横浜を題材とした2作品を提供した他、各種手話動画を作成し、ホームページにて配信しました。新型コロナウイルス感染症予防に関する動画も急遽作成し、配信しました。

4月1日現在、横浜ラポールのスポーツ施設等は、横浜市の指示により利用を停止していますが、情報提供施設は通常通り業務を継続しています。聴覚障害者、そして通訳者、情提職員への感染がないことを祈りながら心落ち着かない毎日です。この機会に、遠隔での情報保障や相談等、新たな取組が進められたらとも考えています。今まで経験したことのない難局ではありますが、職員一同、関係団体の皆さまと力を合わせて乗り越えていければと思います。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

トピックス

全国聴覚障害者情報提供施設協議会 第3ブロック会議

2月13日（木）聴力障害者情報文化センターにて標記研修会が開催されました。全国聴覚障害者情報提供施設協議会の関東ブロックに属する11施設から参加があり、当施設からは施設長及び手話・要約筆記者派遣担当職員が参加しました。午前は、京都聴覚言語障害者福祉協会の近藤幸一氏による、「手話通訳派遣事業所『評価システム』の課題と今後の方向性」の講演がありました。講演では、聴覚障害者情報提供施設（以下、情提）の各事業にも民営化の影響があり、利益優先の事業運営をおこなう民間事業所の台頭や、手話をめぐる、めまぐるしい環境の変化など、社会情勢について触れていました。情提としても手話通訳事業評価基準を策定していく方向や必要性を確認し、評価をおこなう機関のあり方や評価基準などを具体的な説明がありました。午後は講師も交えて、各地域の現状や課題を共有しました。当施設での課題などを整理していくうえでも、他地域とのつながりの大切さを実感する有意義な研修会となりました。

情提事業

【実施報告】

市立ろう特別支援学校の生徒さんへ事業説明を行いました

2月17日（月）、横浜市立ろう特別支援学校高等部3年生6人と引率の教員2人が当施設へ訪問学習にられました。今年で9回目になります。昨年に引き続き、パソコン通訳による、文字での情報保障も行いました。挨拶・事業紹介の後、手話通訳者・要約筆記者派遣事業、遠隔手話通訳等、聴覚障害者相談事業等の説明を行いました。どのような場面で通訳が必要かグループで話し合い、また通訳派遣申込書の記入練習を行いました。当施設の事務所や遠隔手話通訳事業の模擬通訳場面を見学し、最後に横浜市聴覚障害者協会の内田氏からの挨拶をいただきました。皆さんの今後の活躍を期待しています。



普及・啓発事業

支援者向け出前講座

2月21日（金）ハウネス福祉センター（港北区）、2月26日（水）、居宅介護支援センターひまわり畑（鶴見区）に当施設職員が出向き「支援者向け出前講座」を行いました。特定の利用者にあわせた対応方法や、高齢のため耳が遠い方の対応時のポイント、コミュニケーション方法について等、講義と身体コミュニケーション実践を行いました。最後の質疑応答では、支援者が日頃から気になっていること、少なくともこれだけは覚えたい手話など現場に密着したたくさんの質問があり、有意義な時間を過ごしました。

「支援者向け出前講座」に興味のある方は、普及・啓発事業担当の金子・伏原までお問い合わせください。



相談事業

【参加報告】 第5回 関東ろうあ者相談員連絡会

2月28日（金）、聴力障害者情報文化センター（東京都）にて標記連絡会が開催され、当施設から相談員3人が参加しました。はじめに、全国ろうあ者相談員連絡会代表者ブロック会議の報告や、会則改正案について話し合いました。その後の講演では、『相談員の質』をテーマに九州産業大学人間科学部 臨床心理学科教授の倉知延章氏より、福祉専門職としての相談支援業務（ろうあ者相談員）について話していただきました。ソーシャルワーカーの視点で相談援助を行うことと、対象者のストレングスを見つけ、本人主体で対応することの大切さを強調していました。最後に参加者同士で面接のロールプレイを行い、講師から面接対応モデルを見せていただきました。今後の相談事業に対応する上で大変参考になる内容でした。今後の相談業務に生かしていきたいと思っております。



「市長定例記者会見」に手話通訳者がつきました



4月15日(水)、横浜市役所において「市長定例記者会見」が開催され、初めて手話通訳者が配置されました。各新聞社やNHK、民放各局が取材にきており、総勢約40人が会場に集まりました。横浜市にも初めて手話通訳者が配置されるとだけあって、聴覚障害者だけでなく記者からも注目されていました。

手話通訳者付きの「市長定例記者会見」録画映像は以下のホームページで見ることができます。(録画映像はおよそ3か月後まで視聴可能です。)

コロナ禍ではありますが、知事や市長の会見時に手話通訳者が配置されることが全国的に増えています。手話通訳者の役割が社会的に認知され始めたのだと感じます。目まぐるしく日々の状況が変動する今だからこそ、全ての人に正確な情報が行き渡るように、私たちも出来ることを行っていきたくと思います。

横浜市長記者会見インターネット中継ホームページ

<http://shichokaiken.city.yokohama.lg.jp>



110番アプリシステム Net119が始まりました

- ・神奈川県警の「メール110番システム」は3月末に終了しました。
- ・横浜市消防局の「eメール・web119通報システム」は、令和2年9月末に終了します。

FAX110、FAX119は引き続き利用できます

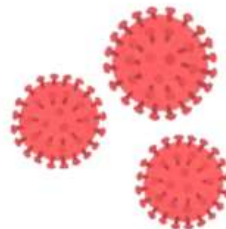
※新システムのやり方が分からない方は、当施設までお問い合わせください

聴覚障害者情報提供施設からのお知らせ

新型コロナウイルス感染症に伴う 情報提供施設の臨時休業について

○の日・祝日が臨時休業日です。職員もいません。
(土曜日は職員います。)

※休業についてはホームページをご確認ください。



2020年4月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

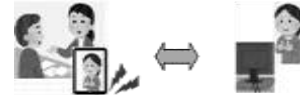
2020年5月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

～職員の異動がありました～

【新採用】4月1日付 松岡 律子 (まつおか りつこ) : (非常勤職員 派遣事業担当)



(令和元年度)



■通訳者の派遣・紹介人数

■聴覚障害者の相談

内容	手話通訳	要約筆記	合計	30年度	相談事業	実件数	対応数
医療・保健	6,002	176	6,178	6,258	医療	102	205
司法	57	0	57	67	職業	31	86
教育・保育	843	61	904	847	教育	4	5
労働・雇用	658	116	774	800	住宅	42	100
社会生活	1,944	91	2,035	1,923	生活	230	421
自己啓発	193	54	247	305	福祉	141	302
福祉推進	1,136	1,271	2,407	2,767	法律	15	38
相談員	1	0	1	3	聞こえ	16	23
他都市より	149	12	161	220	合計	581	1,180
合計	10,983	1,781	12,764	13,190	30年度	565	1,097
30年度	10,997	2,193	13,190				

■通訳者の現任研修

■映像・字幕制作 ()は30年度

手話研修	回数	36 (39)	参加人数	1,011 (1,208)	自主制作作品数	65 (74)
筆記研修	回数	29 (28)	参加人数	703 (555)		

■遠隔手話通訳事業

■普及・啓発事業

区	件数	区	件数	区	件数	派遣先	派遣件数	参加人数
鶴見	2	西	3	栄	1	国・県・市機関	0	0
神奈川	3	南	0	旭	9	介護関係団体	4	51
港北	1	港南	6	戸塚	1	教育機関	4	35
緑	2	金沢	2	瀬谷	0	企業等	2	130
都筑	5	磯子	3	泉	1	聴覚障害者団体	12	480
青葉	4	中	2	保土ヶ谷	7	その他	2	73
件数合計					52 (37)	合計	22 (15)	769 (394)

■視聴覚機器の貸出

物品名	保有数	貸出件数	物品名	保有数	貸出件数
スクリーン	6	183	ブルーレイディスクレコーダー	1	56
磁気ループ	2	26	PC/文字通訳用機器	6	595
液晶プロジェクター	7	366	PC文字通訳用機器個人用	2	165
テープレコーダー	3	70	ビデオカメラ用三脚	1	34
ビデオカメラ	1	34	合計		1,676
OHC	5	147	(30年度)		(1,945)



3月

- 2 遠隔通訳デモ (瀬谷区役所)
- 9 非常勤手話通訳者会議 ※中止
- 5~7 手話通訳士専門研修 (国リ学院) ※中止
- 7 手話養成基礎選考会 (横聴協) ※中止
- 8 字幕付き映画会 ※中止
- 10 視聴覚機器点検
- 11 啓発DVD作成委員会 ※中止
- 11 防災機器点検

- 13 ヨッテク準備委員会
- 14 手話通訳I選考会 (横聴協)
- 19 災害救援本部会議 (コロナ関係)
- 21 手話通訳養成II選考会 (横聴協)
- 24 主管課打合せ
- 25 主管課定例会議
- 28 手話養成運営委員会・講師会 (横聴協) ※中止
- 30 退職者辞令交付

4月

- 4 手話養成開講式 (横聴協) ※中止
- 4 手話運営委員会 (横聴協)
- 10 防災機器点検
- 14 視聴覚機器点検
- 19 通訳者事業連絡会 ※中止
- 20 非常勤手話通訳者会議 ※中止
- 22 主管課定例会議 ※中止

横浜ラポール聴覚障害者情報提供施設だより《横浜ウェブ》

発行日：令和2年4月30日

発行者：(社福)横浜市リハビリテーション事業団 横浜ラポール聴覚障害者情報提供施設

〒222-0035 横浜市港北区鳥山町1752 TEL. 045-475-2057 FAX. 045-475-2059

ホームページ <http://www.yokohama-rf.jp/rapport/jyoutei/>